

報告書

2020年 9月 8日

活動実施団体名 鳥羽市立海の博物館

(公益財団法人東海水産科学協会)

責任者名 館長 平賀 大蔵

報告書作成者名 平賀 大蔵

1. 活動の名称 (タイトル・テーマなど)

「海の博物館周辺の海で ウミウシを探そう！」

2. 実施日

第1回目 2020年7月23日 (海の日 祝日) 12時～15時

3. 実施場所

三重県鳥羽市浦村町大吉1631-68

鳥羽市立海の博物館から歩いていく大吉半島の東海岸の磯

4. プログラム等

12時集合・スケジュール紹介 12時15分持ち物を確認して出発

12時30分磯に到着 (注意事項説明の後、ウミウシ等の生きもの採集)

14時20分写真撮影等 14時30分帰路 (海博到着後足等の洗い)

14時55分集合・感想 15時解散

5. 対象・参加人数 (内訳)

参加者12名 (小学生6名とその親6名)

<参加小学生：小学2年生1名、3年生1名、5年生3名、6年生1名>

スタッフ2名 (内藤、平賀) ケーブルテレビの取材2名

6. 活動の内容・状況・感想 (参加者並びに主催者)

ウミウシとは、貝殻をもたない巻貝の仲間の総称です。その美しい色彩と多様な形態が多くの人を魅了しています。海の博物館から歩いて行ける大吉半島の磯に大潮の干潮時に出て、磯の岩陰や海藻類の中に潜むウミウシ類を探しながら磯の生きものに触れる体験です。ウミウシを探す過程で磯に生育するさまざまな生きものに触れることができ、またウミウシが見つかった場所の特徴 (情報) を参加者で共有して、他のウミウシを探し出す参考にしました。捕獲したウミウシをはじめとする磯の生きものは、観察会終了後、磯 (海) に放して終了しました。

- ・捕獲したウミウシ類は、ヒラミドリガイ、コモンウミウシ、アオウミウシ、シロウミウシを各1匹の4種類、4匹でした。

・参加者の感想

ウミウシは水族館では見たことがあったが、自然の海にいるのを初めて見て感動した。ウミウシはとてもきれいな色をしていた。アオウミウシは、きれいな青い色をしていたし、コモンウミウシは白地に紫と黄色の斑点模様がとてもきれいだった。最後に見つかったシロウミウシは、コモンウミウシによく似ていたが、斑点の大きさや全体の色が違

っていた。海の中の岩にくっついているアオウミウシを水眼鏡で見ることができてよかった。ミルという海藻の中にヒラミルドリガイという小さなウミウシがいて驚いた。とても小さかったけど、ミルをとって入れ物の中でゆすることで見つけることができたことを教えてもらってよかった。



・主催者の感想

磯には、多くのイソギンチャク、カメノテ、マツバガイ、ヒザラガイなど岩にくっついている生きものがいて、参加した子どもたちはウミウシを探しながら初めて見る磯の生きものに興味津々の楽しい時間を過ごせたようです。何とか4種類のウミウシが見つかったです。特にコモンウミウシは色や模様がきれいなので、参加者は大変喜んでくれていました。ウミウシに限らずに、少しでも自然の海に出かけて、さまざまな生きものに出会う機会を作れば良いと思います。子どもたちに海の自然や生きものに興味・関心を持ってもらえるような企画をこれからも考えていきたいです。

